

下水道促進週間コンクールで

羽黒小が知事賞特選を受賞

2月21日(月)、茨城県庁で茨城県下水道促進週間コンクールの表彰式があり、新聞部門(応募数129点)で羽黒小児童の柏翔一朗さん、萩原悠稀さん、北島拓実さん、中野来夢さんのグループが茨城県知事賞特選を見事受賞しました。

また、知事賞にも大塚絵理さん、菊池紗奈さん、坪井奈菜さんのグループが入選を果たしました。

本コンクールは、県民の「下水道」への理解と関心を深め、普及促進を目的に、主に小・中学生を対象に実施され、各部門で47,521点の作品応募がありました。



知事賞などを受賞した羽黒小のみなさん(写真前列右から) 柏さん、萩原さん、北島さん、中野さん、(後列右から) 大塚さん、菊池さん、坪井さん

バイキング給食で

最後の思い出を

2月に、岩瀬東中学校と岩瀬西中学校で、卒業を間近に控えた3年生が、バイキング給食を行いました。

学校給食最後の思い出を作ってもらおうと行われ、パン、ご飯、焼きそば、揚げ物、フルーツ、デザートなど17種類が用意されました。この会食には、生徒たちが給食センターの職員を招き、生徒代表が「給食、とってもおいしいので、これからもお願いします。」とお礼を言いました。

生徒たちは、何度もおかわりし、「月1回あればいいのに。」とバイキングを楽しんでいました。



たくさん料理から食べたい料理を盛り付ける岩瀬東中学校3年生たち

植竹常郎さん、小澤義男さんが

「ものづくりマイスター」に認定

第40回茨城県職業能力開発促進大会が茨城県庁で開催され、同席上で「茨城県ものづくりマイスター」の認定が橋本県知事より行われました。

市内からは、石材施工の職種で真壁町の植竹常郎さん(田地区)と小澤義男さん(亀熊地区)が今日まで培ってきた石材加工技術と、その功績を認められ認定されました。

「ものづくりマイスター」とは、ものづくりの技能の維持・継承を図るため、人材育成や若手の指導などの活動を行う方を認定するもので、今後、両名は石材業の振興・人材育成などで活躍されることとなります。



「茨城県ものづくりマイスター」の認定を受けた植竹常郎さん(写真右)と小澤義男さん(写真左)

樺穂ブルージェイズが

交流試合で準優勝

2月に坂東市猿島球場で第6回沓掛ジュニアコンドルス杯の野球大会が開催され、樺穂ブルージェイズは見事準優勝を勝ち取りました。

この大会は、近隣地域から27チームが参加する学童野球交流試合で、開催期間中熱戦が繰り広げられました。

各チーム4試合を戦い、樺穂ブルージェイズは全試合を勝ち抜き、準決勝も勝利。

決勝では、取手市の寺原ライナーズと8回まで2対2で互角に戦い、結果、大会特別ルールで破れましたが、選手たちの表情は誇らしげでした。



第6回沓掛ジュニアコンドルス杯の野球大会で、準優勝に輝いた樺穂ブルージェイズ選手たちの皆さん